



おそらく疑者たちは、なぜ神がそのしもべたちを世と来世で苦しめることなく、ただに赦すことをしないのかと思いを巡らせることでしょうか。それにする返答としては、「しもべが悔し、神の慈悲とお赦しを求めるのであれば、神はにありとあらゆる罪をお赦しになる」というものがあります。そのような人物が赦しを求めて神に立ち返るのであれば、神はいかなるやいもなしにお赦しになるでしょう。神はその罪があたかも犯されなかったかのように、その人物を赦します。言者ムハンマドによると、であれ赦しを求めて神に立ち返る者は、「それら（の罪）が海に浮かぶ水泡のように数で、砂粒のように多く、山のように重く、雨の滴や、すべての木ののよう数であったとしても、赦されるのである。」とされています。

神は赦しを求める者を赦しますが、それは神に悔悟し、かれへの不を悔してを流す虚な信仰者を神がでるからです。クルアンはこのように述べます。

“????????????????????????????????????...”????????2:222?

では、罪を犯しながらもして赦しをを求めないような者たちは、どうなるのでしょうか？また、それを止めようともせず、罪を犯しける者たちはどうなるのでしょうか？神が罪にするを与えないことはありません。なぜなら、それは人々が着かつ邪となることにつながるからです。それらの罪人たちにするの施行は、父が息子にとって有益になるため行うのと同、彼ら自身にとって有益なものなのです。例えば、6が源コンセントに指を突っんだとしましょう。その父は、子供が感することをおそれて彼をしめます。たとえ反抗的な子供自身は、そのが父の情と配によるものであることを理解するには幼すぎたとしても、は子供の利益だけのために、を与えるのです。子供が指をコンセントに入れると、感するのは父ではなく、子供自身なのです。同に、私たちが罪を犯せば、矢を被るのは私自身であり、神の光には何の影もありません。それゆえ世におけるは手段なのであり、末ではないのです。の目的は そのものではなく、そのい抑止力なのです。

もし父が子供を甘やかしすぎ、源コンセントに手を入れても何も言わないようであれば、子供は自分の行いの重大さを理解出来ないでしょう。その子はコンセントに手を

入れて、いずれ感 死してしまうかもしれません。同 に、神がそのしもべに苦 を与えなければ、彼らは して自分たちの罪深さに 付かず、精神の死に到 してしまいます。例えば浮 性の夫は、自らの 思 がやがては家庭崩 につながるであろうことに 付かないかも知れず、ギャンブル中毒者は自らの中毒が破 につながることに 付かないかも知れず、アルコール中毒者はその酒癖が悲惨で空虚な人生の原因となっていることに 付かないかも知れないのです。それゆえ、神はそういった人々に を与えることによって、彼らの罪を うだけでなく、そうした有害な生き方に警告し、目を まさせるのです。

また、麻 を使ってもお咎めなしの を持つ子供について考えてみてください。それは教育放 であるだけでなく、叱ってくれる 象を持たない子供が自らを つけ ける 果につながります。それゆえ、 任ある は、子供が いことをすると外出禁止の を与えるような一定のガイドラインを子供に けます。これは、 を怖れる子供が いことをしない抑止力となるのです。同 に、地 の 造は、それが でありながら、人 への慈悲でもあります。それによる 威を通して、神が善いものを るのです。地 という によってしもべを恐れさせることによって、人々は神を恐れ、神に い、そして精神性を育み、 となり、 されます。それは神を益しません、人々を益することです。神はそれを必要としませんが、人々はその生活の中で神を必要としているのです。

神は、人々に地 という いを 定付ける前に、多くのチャンスを与えます。それはスピード 反の 手を捕まえる警察官に例えることが出来るでしょう。初めて 手がスピード 反を犯したとき、警察官は に警告を与えます。2回目には 金が50ドル、そして3回目になるとそれは一 に300ドルにまで跳ね上がります。4回目にもなると地域奉仕活 が せられ、その次には免 停止となります。警察官は自分のために 手を捕まえているのではなく、事故と怪我を防ぐため、つまり 手自身の利益のためにそうしたのです。それは神の手法に似ています。神は 世において人々に小 模な を与えることにより、彼らが自らの いに 付くようにするのです。言い えると、神が善良な人々に をもたらすのは、彼らの罪に を与え、その によって彼らが 世の内に自らの ちを正し、来世の を避けさせるためです。手は牢 に されるよりは、50ドルの 金の支 いを ぶでしょう。それと同じように、信仰者は来世で地 に落とされるよりは、 世における を ぶのです。

その意味するところは、信仰者はある の に 舞われたとき、自らの罪が赦されたという 事 について安心すべきだということです。人は、最も公正な者である神が、あらゆる 苦痛と悲しみへの代 を与えることを知るべきなのです。言者ムハンマドによると、刺 のちくりとする小さな痛みでさえ、神はそれを罪への いとするのです。苦 の中にいる 信仰者は、神に して恩知らずであってはならず、神の公平さを疑 してもなりません。なぜなら神は来世においてあらゆる者にその代 を与えるからです。それは人 に する神 の 束なのです。 や苦 に心を ます信仰者は、自分が神に ばれており、地 での ではなく、世における 化こそが、神の 情から来ているのだという事 を肝に じなければなりません。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1804>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。